

# 小児AYA世代がん患者支援チームより

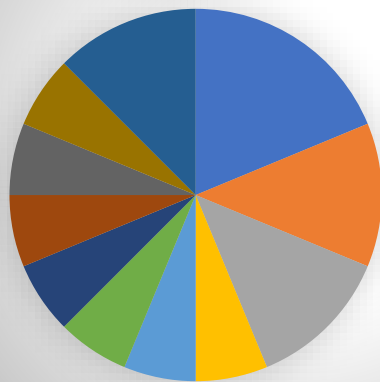
こんにちは！小児AYA世代がん患者支援チームです。  
久しぶりの発行ですが、  
地道に活動継続しています！

## 患者データ

令和4年度上半期にがんセンターでは41人の小児AYA世代患者さんががんと診断を受けました。  
(初診料算定対象者)  
そのうちチーム支援に繋がったのは15人・36.5%です。

支援介入した内容は、『妊孕性』『経済問題』『就労』『養育』『ピアサポート』等です。

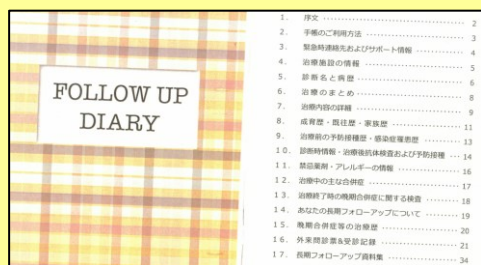
## 介入したがん種



- 骨軟部腫瘍
- 乳がん
- 脳腫瘍
- 悪性リンパ腫
- 口腔がん
- 胃がん
- 高度異形成
- 神経内分泌腫瘍
- 精巣がん
- 子宮がん
- その他

## お知らせ

①知っていますか？フォローアップ手帳  
日本小児がん研究グループの長期フォローアップ委員会が治癒した後も高い生活の質 (QOL)を保つことができるように、とフォローアップダイアリーを作成しました。治療中から自分の疾患や治療の情報を持つておくことが大切です。がん相談支援センターにありますので、お気軽にお声がけください。



②千葉県小児AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業 実施要項が一部改訂  
令和3年度から開始している、妊孕性温存医療への助成について、温存後生殖補助医療にも適用される予定。がんの治療を終えて子を授かるための医療費も一部助成されることになりそうです。開始時期が決まりましたら、部会よりお知らせします。

千葉県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業	
対象となる妊孕性温存療法と助成上限額	1人につき通期2回までです
①胚(受精卵)凍結	35万円
②未受精卵凍結	20万円
③卵巣組織凍結	40万円
④精子凍結	2万50円
⑤精巣内精子採取術による精子凍結	35万円

◆令和3年4月1日以降に実施した妊孕性温存療法が対象です。  
◆助成上限は、異なる治療を受けた場合にも適用範囲上です。  
※例：胚(受精卵)凍結(1回)、未受精卵凍結(1回)と変更します。  
なお、卵巣組織凍結及び精子凍結はそれぞれ1回と定めます。  
◆妊孕性温存療法及び初期の凍結保存に要した医療費は別途費用が対象です。  
◆要した費用が助成上限額以下の場合は、その金額までの助成となります。  
◆入院費料(差額ベッド代等)、食事療養費、文書料等の治療に直接関係のない費用及び初期の凍結保存費用を除く凍結保存の維持に要する費用が対象です。  
◆経過不順などにより、医師の判断に基づき妊孕性温存療法を中止した場合も助成の対象となります。

# AYAweekのご案内



## 知ろう、一緒に。

AYA世代の"がん"の今と  
「つながる」1週間。

※AYA世代とは15歳～39歳のこと

2023.03.04(SAT) - 03.12(SUN)

110311

昨年から始まった、AYAweekが今年も開催されます。このイベントはAYA世代の患者さんやその支援者を繋ぐものです。今回は『知ろう、一緒に』がテーマです。当院のがん相談支援センターが開催事務局のYouTubeチャンネルにて紹介動画で掲載されています。開催中は午前中から夜まで、様々なオンラインイベントが予定されています。詳しくは、公式ホームページをご覧ください。

<https://ayaweek.jp/2023/>



ご依頼・お問合せは、がん相談支援センター（内線：7145）まで